

ーロンドンー

ロンドン、パリとも平坦地が多く、農地の1辺長は数キロメートルも有るのではないのでしょうか。これでは日本農業は太刀打ちできないように思いますが、何となく粗放的な印象を受けました。したがって、例えばハウス栽培のような気象に影響されない、あるいは生産を希少価値のあるものに特化（集約化）することで活路を見いだせるような気がしました。また、日本の土木工事の単価が高すぎるなどと批判されますが、両市では橋や擁壁などを設ける必要がほとんど有りませんので、そうした批判は当たらないことが良くわかりました。



チャーチル像



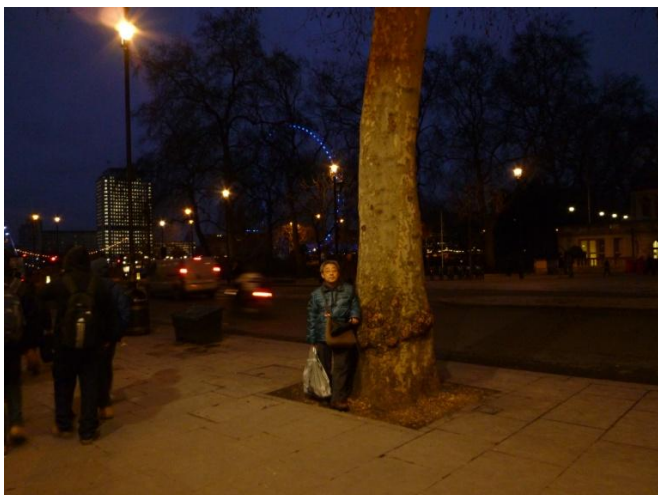
ダイアナ妃記念マーク（宮殿前）



テムズ川とビッグベン（国会議事堂）



ユーロスター（新幹線より車内が狭い）



街路樹（プラタナス？）の巨木



極端な車幅制限



ーパリー



ノートルダム寺院 (圧巻でした…)



凱旋門から新凱旋門を望む  
(旧市街地はペルサイユ宮殿より高くできない)



ビル壁面緑化



軍のパトロール (日常行動)



コンコルド (有りました…)



親指…



モンサンミッシェル(仏:小島に築いた修道院, 世界遺産)

石だけでよくぞ築いたものだ...

事故にあった作業員も多かったであろう...



島内のホテル (中世様式)

